



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月28日

上場会社名 ヒューリック株式会社 上場取引所 東
コード番号 3003 URL <https://www.hulic.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）前田 隆也
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 広報・IR部長 （氏名）成瀬 麻弓 TEL 03 (5623) 8100
兼サステナビリティ部長
半期報告書提出予定日 2025年8月4日 配当支払開始予定日 2025年9月3日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期中間期	300,081	46.4	75,055	8.8	66,547	2.6	44,893	1.7
2024年12月期中間期	204,852	11.3	68,923	3.4	64,856	4.2	44,130	0.0

（注）包括利益 2025年12月期中間期 47,561百万円（△9.0％） 2024年12月期中間期 52,296百万円（△10.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	59.06	—
2024年12月期中間期	57.98	57.98

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期中間期	3,424,321	867,691	24.7	1,117.07
2024年12月期	3,048,935	856,344	27.3	1,093.78

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 848,219百万円 2024年12月期 832,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	26.00	—	28.00	54.00
2025年12月期	—	28.50			
2025年12月期（予想）			—	28.50	57.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	—	—	178,000	8.9	164,000	6.2	108,000	5.5	142.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は賃貸事業を中心とした安定的な事業構造を有していますが、販売用不動産の売買動向によっては、営業収益（売上高）が大きく変動いたします。この物件売買の成否は経済情勢や不動産市況に大きく影響を受ける状況にあり、現状では予測が困難であるため、営業収益の予想は記載しておりません。予測が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 有

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 銀座六丁目プロパティ合同会社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期中間期	767,907,735株	2024年12月期	767,907,735株
2025年12月期中間期	8,587,856株	2024年12月期	6,339,456株
2025年12月期中間期	760,007,814株	2024年12月期中間期	761,077,871株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の連結業績は、前連結会計年度及び当中間連結会計期間に竣工、取得した物件によりオフィス等の不動産賃貸収入は安定的に推移しております。また、販売用不動産の売上も順調に推移したことなどにより、営業収益は300,081百万円(前年同期比95,229百万円、46.4%増)、営業利益は75,055百万円(前年同期比6,132百万円、8.8%増)、経常利益は66,547百万円(前年同期比1,691百万円、2.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は44,893百万円(前年同期比762百万円、1.7%増)となりました。

各セグメントの経営成績は、次の通りであります。

(各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益、振替高を含みます。)

(不動産事業)

当社グループの中核事業は、東京23区を中心に、約250件(販売用不動産除く)の賃貸物件・賃貸可能面積約128万㎡を活用した不動産賃貸事業であります。「高い利益成長」と「安定基盤利益拡大」を実現するポートフォリオ再構築の観点から、環境変化に対応できる競争優位性のある物件への継続的な入れ替えや厳選した開発の推進に取り組んでおります。また、本格化する竣工物件の利益の最大化をはかるため、出口戦略の多様化により、安定的・継続的な開発利益と運用報酬の獲得にも継続して取り組んでおります。

当中間連結会計期間における新規物件(固定資産)の取得につきましては、アリオ西新井(一部)(東京都足立区)及びヒューリック神谷町ビル(東京都港区)などを取得いたしました。

開発・建替事業(固定資産)につきましては、(仮称)三郷物流開発計画(埼玉県三郷市)、(仮称)銀座ビル建替計画(東京都中央区)、(仮称)札幌建替計画(2期工事)(札幌市中央区)、(仮称)心斎橋開発計画(大阪市中央区)、自由が丘一丁目29番地区第一種市街地再開発事業(東京都目黒区)、(仮称)銀座8丁目9-11,12開発計画(東京都中央区)、(仮称)青山ビル建替計画(東京都港区)、(仮称)銀座五丁目開発計画(東京都中央区)及び(仮称)新宿318開発計画(東京都新宿区)などが順調に進行しております。

PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)事業につきましては、東京都と渋谷区実施の「都市再生ステップアップ・プロジェクト(渋谷地区)渋谷一丁目地区共同開発事業」などが順調に進行しております。

販売用不動産につきましては、ヒューリック広尾ビル(東京都港区)、(仮称)市ヶ谷開発計画(東京都千代田区)及びヒューリック新宿ビル(一部)(東京都新宿区)などを売却しております。

このように、当セグメントにおける事業は順調に進行しており、前連結会計年度及び当中間連結会計期間に竣工、取得した物件によりオフィス等の不動産賃貸収入は安定的に推移したことに加え、販売用不動産の売上も順調に推移したことなどから、当中間連結会計期間の営業収益は257,335百万円(前年同期比76,795百万円、42.5%増)、営業利益は79,713百万円(前年同期比6,874百万円、9.4%増)となりました。

(保険事業)

保険事業におきましては、連結子会社であるヒューリック保険サービス株式会社が、国内・外資系の保険会社と代理店契約を結んでおり、法人から個人まで多彩な保険商品を販売しております。保険業界の事業環境は引き続き厳しい環境にありますが、既存損保代理店の営業権取得を重点戦略として、法人取引を中心に営業展開をしております。

この結果、当セグメントにおける営業収益は1,966百万円(前年同期比74百万円、3.9%増)、営業利益は557百万円(前年同期比△29百万円、5.0%減)となりました。

(ホテル・旅館事業)

ホテル・旅館事業におきましては、連結子会社であるヒューリックホテルマネジメント株式会社は「THE GATE HOTEL」シリーズ及び「ビューホテル」シリーズ、ヒューリックふふ株式会社は「ふふ」シリーズを中心に、ホテル及び旅館の運営をおこなっております。

当中間連結会計期間においては、引き続き旺盛なインバウンド需要の取り込みによる宿泊単価の上昇に加え、国内外の活発な需要を着実に取り込みましたことから、当セグメントにおける営業収益は27,943百万円(前年同期比2,958百万円、11.8%増)、営業利益は2,652百万円(前年同期比1,119百万円、73.0%増)となりました。

(その他)

その他におきましては、主に連結子会社であるヒューリックビルド株式会社が、当社保有ビル等の営繕工事、テナント退去時の原状回復工事、新規入居時の内装工事を中心に受注実績を積み上げておりますほか、連結子会社である株式会社リソー教育が進学学習指導等をおこなっております。

この結果、営業収益は19,019百万円(前年同期比14,536百万円、324.3%増)、営業損失は52百万円(前年同期は営業利益187百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①財政状態の変動状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、3,424,321百万円となり、対前期末比で375,385百万円増加いたしました。当社グループにおきましては、「高い利益成長」と「安定基盤利益拡大」を実現するポートフォリオ再構築の観点から、環境変化に対応できる競争優位性のある物件への継続的な入れ替えや厳選した開発の推進に取り組んでおります。

また、ヒューリックリート投資法人及びヒューリックプライベートリート投資法人の中長期的な収益向上と優良アセットの着実な積上げを実現するために、スポンサーとしてのサポートやバックアップにも努めております。

主な項目の増減は以下の通りであります。

・現金及び預金	35,237百万円増加
・土地	87,316百万円増加(物件の取得及び販売用不動産への振替等)
・投資有価証券	43,011百万円増加(投資有価証券の取得、売却及び含み益の増加等)

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、2,556,629百万円となり、対前期末比で364,038百万円増加いたしました。これは主に、設備投資等に伴い、資金調達をおこなったことによるものであります。

当社グループの借入金残高は1,562,406百万円となっておりますが、このうち特別目的会社(SPC)のノンリコースローンが34,830百万円含まれております。金融機関からの資金調達については、高い収益力を背景として安定的に低コストで調達をおこなっております。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、867,691百万円となり、対前期末比で11,347百万円増加いたしました。このうち株主資本合計は、781,909百万円となり、対前期末比で12,732百万円増加しております。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

また、その他の包括利益累計額合計は、66,309百万円となり、対前期末比で2,495百万円増加いたしました。これは主に、有価証券の含み益が増加したことによるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により47,195百万円増加し、投資活動により220,580百万円減少し、財務活動において208,721百万円増加し、当中間連結会計期間末には169,585百万円となりました。

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,234	47,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298,199	△220,580
財務活動によるキャッシュ・フロー	240,431	208,721
現金及び現金同等物の中間期末残高	110,230	169,585

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは47,195百万円の収入(前年同期比△38,039百万円)となりました。これは主に、不動産賃貸収入及び販売用不動産の売却を主因とした税金等調整前中間純利益が68,648百万円、棚卸資産の減少額が25,029百万円、営業投資有価証券の増加額が21,580百万円、法人税等の支払額が30,000百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは220,580百万円の支出(前年同期比△77,619百万円)となりました。これは主に、「高い利益成長」と「安定基盤利益拡大」を実現するポートフォリオ再構築の観点から、物件の入れ替えや開発・建替等をおこなったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは208,721百万円の収入(前年同期比△31,710百万円)となりました。これは主に、上記、物件の入れ替えや開発・建替等のために、資金調達をおこなったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間期の業績は概ね計画通りに推移しており、2025年12月期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	134,462	169,700
受取手形、営業未収入金及び契約資産	14,194	13,156
商品	225	218
販売用不動産	354,961	365,294
仕掛販売用不動産	49,425	54,992
未成工事支出金	26	62
貯蔵品	472	477
その他	30,114	176,928
貸倒引当金	△19	△25
流動資産合計	583,864	780,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	243,489	242,160
機械装置及び運搬具（純額）	17,848	19,852
土地	1,405,359	1,492,676
建設仮勘定	45,782	68,150
その他（純額）	11,344	11,325
有形固定資産合計	1,723,825	1,834,165
無形固定資産		
のれん	117,160	113,762
借地権	70,843	81,330
その他	28,881	29,108
無形固定資産合計	216,886	224,201
投資その他の資産		
投資有価証券	420,487	463,499
差入保証金	53,986	57,970
繰延税金資産	3,867	3,920
退職給付に係る資産	197	209
その他	44,436	57,978
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	522,967	583,571
固定資産合計	2,463,680	2,641,938
繰延資産		
繰延資産合計	1,391	1,576
資産合計	3,048,935	3,424,321

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	359,719	279,045
短期社債	29,909	159,613
1年内償還予定の社債	—	180,000
未払費用	5,867	7,120
未払法人税等	27,725	23,130
前受金	10,464	11,037
賞与引当金	962	1,197
役員賞与引当金	382	188
その他	27,721	26,779
流動負債合計	462,754	688,111
固定負債		
社債	444,000	324,010
長期借入金	1,037,369	1,283,361
繰延税金負債	89,978	92,199
株式給付引当金	3,151	3,842
退職給付に係る負債	4,652	4,870
長期預り保証金	104,947	114,002
その他	45,737	46,229
固定負債合計	1,729,837	1,868,517
負債合計	2,192,591	2,556,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	111,609	111,609
資本剰余金	137,738	130,165
利益剰余金	522,922	546,349
自己株式	△3,094	△6,215
株主資本合計	769,176	781,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,506	68,208
繰延ヘッジ損益	△517	△1,038
為替換算調整勘定	△1,063	△743
退職給付に係る調整累計額	△111	△115
その他の包括利益累計額合計	63,814	66,309
新株予約権	75	75
非支配株主持分	23,278	19,396
純資産合計	856,344	867,691
負債純資産合計	3,048,935	3,424,321

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業収益	204,852	300,081
営業原価	106,591	179,940
営業総利益	98,261	120,141
販売費及び一般管理費	29,337	45,086
営業利益	68,923	75,055
営業外収益		
受取利息	30	263
受取配当金	2,167	2,367
持分法による投資利益	52	1,082
賃貸解約関係収入	677	171
その他	390	549
営業外収益合計	3,318	4,434
営業外費用		
支払利息	6,207	9,451
その他	1,177	3,490
営業外費用合計	7,385	12,942
経常利益	64,856	66,547
特別利益		
投資有価証券売却益	5,445	3,705
匿名組合等投資利益	46	318
その他	53	96
特別利益合計	5,545	4,120
特別損失		
固定資産除却損	1,998	1,217
建替関連損失	147	228
減損損失	31	570
段階取得に係る差損	2,792	—
その他	30	3
特別損失合計	5,000	2,019
税金等調整前中間純利益	65,400	68,648
法人税、住民税及び事業税	21,333	23,672
法人税等調整額	△249	△104
法人税等合計	21,083	23,568
中間純利益	44,317	45,079
非支配株主に帰属する中間純利益	186	186
親会社株主に帰属する中間純利益	44,130	44,893

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	44,317	45,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,484	2,861
繰延ヘッジ損益	△243	△520
為替換算調整勘定	0	330
退職給付に係る調整額	△84	△45
持分法適用会社に対する持分相当額	△177	△142
その他の包括利益合計	7,978	2,482
中間包括利益	52,296	47,561
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	52,109	47,389
非支配株主に係る中間包括利益	186	172

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	65,400	68,648
減価償却費	8,503	9,385
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31	234
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△194	△193
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	178	691
退職給付に係る資産負債の増減額	57	136
受取利息及び受取配当金	△2,198	△2,630
支払利息	6,207	9,451
持分法による投資損益 (△は益)	△52	△1,082
固定資産除却損	1,998	1,217
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△59
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,445	△3,705
匿名組合等投資損益 (△は益)	△46	△318
段階取得に係る差損益 (△は益)	2,792	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,658	1,038
棚卸資産の増減額 (△は増加)	21,817	25,029
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	—	△21,580
差入保証金の増減額 (△は増加)	△1,037	△3,984
預り保証金の増減額 (△は減少)	5,033	9,055
その他の資産の増減額 (△は増加)	4,279	△4,859
その他の負債の増減額 (△は減少)	666	△4,726
小計	106,283	81,751
利息及び配当金の受取額	3,431	4,210
利息の支払額	△6,095	△8,766
法人税等の支払額	△18,384	△30,000
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,234	47,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,232	△12
定期預金の払戻による収入	10	33
有形固定資産の取得による支出	△244,711	△165,038
無形固定資産の取得による支出	△4,723	△10,210
固定資産の売却による収入	0	155
投資有価証券の取得による支出	△53,195	△82,281
投資有価証券の売却による収入	6,603	4,292
投資有価証券の償還による収入	8,982	44,293
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△8,508	△232
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	168	—
貸付けによる支出	△47	△2,580
貸付金の回収による収入	0	2
その他	△545	△9,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298,199	△220,580

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,856	△164,451
短期社債の純増減額 (△は減少)	154,821	129,315
長期借入れによる収入	121,000	440,392
長期借入金の返済による支出	△60,763	△110,622
社債の発行による収入	62,604	59,521
社債の償還による支出	△30,000	△120,000
自己株式の取得による支出	△0	△3,121
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△20,699	△21,466
非支配株主からの払込みによる収入	—	1,487
非支配株主への配当金の支払額	△120	△1,017
その他	△265	△1,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	240,431	208,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△76
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27,466	35,260
現金及び現金同等物の期首残高	82,763	134,326
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△1
現金及び現金同等物の中間期末残高	110,230	169,585

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	保険事業	ホテル・ 旅館事業	計				
営業収益								
外部顧客への 営業収益	175,852	1,892	24,843	202,588	2,263	204,852	—	204,852
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	4,687	—	141	4,829	2,218	7,047	△7,047	—
計	180,539	1,892	24,984	207,417	4,482	211,899	△7,047	204,852
セグメント利益	72,839	587	1,532	74,959	187	75,146	△6,223	68,923

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事請負、設計・工事監理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6,223百万円には、セグメント間取引消去323百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,546百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	保険事業	ホテル・ 旅館事業	計				
営業収益								
外部顧客への 営業収益	252,759	1,966	27,760	282,486	17,594	300,081	—	300,081
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	4,575	—	183	4,758	1,424	6,182	△6,182	—
計	257,335	1,966	27,943	287,245	19,019	306,264	△6,182	300,081
セグメント利益 又は損失(△)	79,713	557	2,652	82,923	△52	82,871	△7,816	75,055

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事請負、設計・工事監理業務及びこども教育事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△7,816百万円には、セグメント間取引消去570百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8,386百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。